

桐朋学園芸術短期大学  
紀要 Vol.3  
2007年3月 発行

# ミュージカル「チキン・カレー」

原作：  
溝口 勲  
脚色：作詞：演出  
篠崎 光正

脚色・作詞・演出	篠崎 光正
音楽	呉 富美
振付	金森 勢
美術	三宅 景子
照明	森脇 清治
音響	斉藤 英士
衣装	伊藤 かよみ
大道具制作	金子 大道具
舞台監督	シノザキスタジオ
制作	三島 由起子 制作進行：福田 瑞紀

登場人物

えりか (孫娘) 高校三年生

たえ (祖母) 八十歳

ホーム・ヘルパー 高部愛子 四十五歳

えりかの母 (声) 四十四歳

M1 オーバチユア

夏。

夕方。

都営アパートの一室。

キッチン。

質素な生活ぶりをうかがわせるインテリア。

しかし、整理整頓されている。

調理台、椅子、テーブル、冷蔵庫、扇風機がある。

音楽が突然止むと、いびきが聞こえる。

祖母のたえが、車椅子でいびきをかきながら居眠りをしている。

蝉の鳴き声が聞こえる。

ホーム・ヘルパーの高部愛子が、調理台の前で演歌を口ずさんでいる。そこへ、孫娘のえりかが、デパートの紙袋を持って、登場。

えりか

高部

えりか

高部

えりか

高部

(小声で) うるせえ。

あたし？

(小声で) ばあちゃん。

よかった、名曲よねえ。外、暑かったでしょ？

地獄だ。

東京の暑さは半端じゃないわよ。

団扇を出して、えりかに手渡す。

えりか

高部

えりか

高部

えりか

高部

えりか

高部

デパートは涼しかった。  
ご飯は炊飯器にありますからね。おばあちゃんから、お孫さんがカレー・ライスを作るって聞いていたので、おかずは何も作ってありませんよ。

大変だね。わざわざ涼しい北海道から、この暑い東京へ、おばあちゃんの世話しに来たの？

違います、うちのくそばあに騙されたの。年寄りの世話なんて聞いてないよ。仕事の都合が

つかないから、先に行つててくれ、一日だけでいい、旅行も出来るしとか言われて来てみたら、

いきなり買い物して来いだもんな。ヘルパーさんに：あなたに頼めばいいのに。

あたし、高部愛子、高い低いの「タカイ」に、部長の部と書いて「ベ」です。よろしくお願い

します。あのね、(帰り支度をしながら)おばあちゃん、あたしに頼むのは嫌なんですよ。あた

しもがんばったんですけど、嫌われちゃったみたい。やっぱり身内の人でないよね、身の回り

えりか

高部

えりか

高部

えりか

高部

たえ

えりか

高部

えりか

高部

たえ

えりか

高部

の世話は、だめなんですよ。

身内っていったって、あたし、一度も会ったことないんだよ、この人と。

あら、おばあちゃんの話では、小さい時、しばらく一緒に暮らしていたようなことを言っていましたよ。

あたし、一応生まれは東京なのね。二歳まで東京にいたらしいんだけど、ばあちゃんの記憶が全然ないんだ。

まあ、それって、二世帯住宅だったのかしら。

詳しいこと知らないけど、まったく記憶なし。言つとくけど、あたし、馬鹿じゃないからね。

賢いに決まっているわよ、このおばあちゃんの孫だもの。

があああ。

賢いの、おばあちゃん？

ええ、そりやあもう、すっかりしてるわよ、あなたのおばあちゃん。ねえ、あなたのお母さんには、姑さんにあたるのよね。

そうだよ。

大変だったでしょうね、きっと。普通の神経の人じゃ、お嫁さんとしては、一日だって持ちやしないわね。

があああ。

それ、どういう意味？

ははは、がんばってね。あなたはお孫さんだもの、大丈夫よ。おばあちゃんは、あなたに、カレーを作ってもらいたいんだから、そう言ってたよ。

えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部

あたし、料理苦手だよ。  
それでもいいのよ。お孫さんの、あなたに、作ってもらいたいんですよ。人間、歳をとるって  
そういうことなの。  
レトルトでいいのに。これ見て、「カレーのモナ・リザ」  
袋にもどした方がいいわ。このおばあちゃんは、そういうものを、ものすごく嫌うの。手作り  
でないのだめなのよ。  
だって、「カレーのモナ・リザ」だよ、身体に優しいよ。  
作る人のまごころが大切なの。  
でも、ほら、買っちゃったよ。  
なんなら、あたしがいただきますか？  
やだ、だめ、しまっておく。  
そっちに入っているのはなあに？  
いろいろ。取り敢えず、ばあちゃんに言われたものは買って来たけどね。  
ちゃんと作ってあげてね、楽しみにしていたんだから、おばあちゃん。  
えりか、自信ないしよ。  
カレーはどんな作り方をしても、失敗はないのよ。がんばってね。  
なんか、もっと自信がなくなってきた。  
あたしは、今日で契約は終わりですから。

高部は、嬉しそうにエプロンを脱いで手際よくたたみ、バッグに入れる。

えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部

えりか、うれしそうだな。  
そう見える？  
見えるよ、ほら、顔がにやけた。  
やっぱり・・・。がんばってね。  
帰らないで！なんなの、言っつてよ、気になる。  
どうしようかな。  
なんなの、なにかあるの？  
(言いかけて) やめとこ。

高部は帰ろうとする。

えりか  
高部  
えりか  
高部  
たえ  
高部

言いかけてやめないで。  
言っときませんが、電話してもあたしは二度と来ませんから。電話しても無駄ですから。  
わかった。だけど、言いかけたことは、なんなの？  
しょうがないねえ。あのね、おばあちゃんのことなんだけど、これまでにヘルパーさんが何十人も替わったの。ただものじゃないわよ、このおばあちゃん。  
がああ。  
あたしも、それを会社で聞いていたから、最初は断ったの。だけど、区役所に勤めている同級生に、どうしても行っつてあげてつて、頭下げられちゃつてさ。ここへやつて来たけど、案の定、



後悔したわ。予想通り、いえ、予想をはるかに超えていたの。でも、誤解しないで。これはおばあちゃんが悪口を言っているんじゃないわよ。あなたの為に忠告しただけ。信じてよ。ほんとうに、まともにやっていたら、こっちの気が変になるわよ。あああ、ヘルパーなんて仕事、ならなきゃよかった。

えりかは、この台詞の間に、鍋を出し、水を入れガス台にかけ、点火する。

高部は、演歌を歌いながら出て行く。

えりかも後を追って退場。

高部  
声(高部)

♪あたし、馬鹿よね、お馬鹿さんよね。  
それでは、失礼しまあす！おばあちゃんに、あたしがお別れの挨拶したがってたたくれぐれも言っておいてね。  
わかった！お疲れ様！

ドアの閉まる音。  
えりか登場。

えりか

何なんだよ、ただものじゃないとか言つてよ。

たえ  
えりか

があああ。  
ばあちゃん。

えりかは、興味深く居眠りをしている車椅子のおばあちゃんの顔を覗き込む。

音楽が入る。

M 2 ばあちゃん

♪ウウウ

イエイエイエ

ウウウ

ウウウ

イエイ

ウウウ

あたしの

あたしの

この人が

ばあちゃん

あたしの  
あたしの  
あたしの  
おぼえてないぜ  
まるで はじめて会ったみたいだよ  
ばあちゃん  
深いしわが  
何本も  
ひび割れのように  
溝となつて  
走り回る顔  
ウウウ  
イエイエイエ  
ウウウ  
イエイエイエ  
あたしの  
あたしの

このひとが  
ばあちゃん  
あたしの  
あたしの  
ばあちゃん

あたしも  
いつかこんな顔に  
しわだらけになるの  
ひくい鼻も  
似てるかな  
ばあちゃんとあたし  
あたしとばあちゃん  
いつかこんな顔  
いつかこんな顔  
似てるのかな  
ばあちゃんと

ウウウ  
イエイエイエ

たえ

イエイ

えりかは、いつしかおばあちゃんから離れ、袋からレトルトのカレーを取り出し、パツケージを開けて、鍋に入れようとする。

やめなさい！

音楽止む。

えりかは凍りつく。

しかし、あまりに驚いたので、鍋の中にカレーの袋を落としてしまう。

ああ！

レトルトはいけません。

はい！

はやく出なさい！

はい！あちち！

箸を使いなさい。

もしかして、話聞いていた？

ちゃんと聞いていました。

どのへんから？

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

「くそばばあに、だまされた」  
全部だよ。

お母さんを、くそばばあだなんて、決して言うてはいけません。  
いいの。あいつはそれだけのことしてんだから。

ガス止めて！レトルト、出しなさい！

あ、はい。

ガスの炎は、お鍋の底から出ないように調節する。もったいないわよ。

あ、はい。

えりかは、鍋のお湯を捨てようとする。

お湯は捨てない！ステン製の洗い桶に取っておく。後で洗い物に使えます。

あ、はい。

冷蔵庫におじやがあるから出して。

これ？

むいて。

むいてって、カレー作るの？どうしても？

そうよ、本格カレー。

ちよつと！そんなあ、本格カレーなんか、このあたしに作れるわけないべき。  
べさ？

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか

作れないと思います。  
わたしが今から教えます。  
まじで？

わたしの言う通り作れば、出来ます。

できないっちゆうの！

ああそうですか。それじゃ、居て貰ってもしょうがないから、帰ってください。

帰りたいよ、あたしだって、そりゃ。だけど、今から帰る飛行機がないよ、あたしのところは、  
自慢じゃないが北海道のローカル線なんです。

だったら、作りなさい。

どうなっても、知らないよ。何人分？

お母さんの分も作りましょうね。明日もカレーよ。

げっ！まじかよ！

えりかはじゃがいもを洗い始める。

水道は細く出す！メーターが上がります。  
あ、はい。

えりかはじゃがいもを上手にむき始める。

たえ たえ  
えりか えりか  
たえ たえ  
えりか えりか  
たえ たえ  
えりか えりか  
たえ たえ  
えりか えりか

あら、手際がいいわね。

こう見えても、いもの皮むきは、誰にも負けないよ。合宿で、こんな鍋に豚汁とかカレーとか、どーんと作ったんだ。

合宿？

あたし、わが高校の野球部のマネージャーなの。

皮はもつと薄くむきなさい。食べられるところを捨てるのは、もったいない。

北海道じゃ、できすぎて丸ごと投げてるよ。

投げてる？

(捨てる手まねで) 投げる。

ああ、捨てる。(投げる手まねで) 投げるはこう。(捨てる手まねで) 捨てるはこう。うそ。

うそじゃありません。捨てるなんて世も末ね。ばちがあたるよ。

そんなこと、あたしに言われてもね。カレーの隠し味はチョコレート、コーヒーター？

チョコレートもコーヒーターも許しません。

許しませんって、ばあちゃん、もしかして学校の先生？

手が止まっています！わたしの言ったもの、買ってきてくれた？

音楽が入る。

### M3 カレーの歌



えりか  
たえ

そこにあるよ。  
出して。

えりか

えりかは、手を洗いデパートの袋を取りに行く。何かを隠す。

♪待ってました

ここにあります

カレーの香辛料

これぞ

本格 本格 本格 カレーの素

コリアンダー

クローブ

ターメリック

マンゴー・チャツネ チヤチャチャのチャ

ガラムマラサ

音楽止む。

たえ

ガラムマサラ。

えり

それ。

再び演奏が始まる。

♪クミン・シード

ローリエ

シナモン

カルダモン

ラストは

プレーン・ヨーグルト

おしまい

音楽終わる。

えりかはじゃがいもの皮をむき始める。

そっちは？

完熟トマトに鶏のもも肉。以上。

お財布、返して頂戴。

あ、はい。(お財布を返しながら) 東京って何でも売っているんだね。インド料理の食材までデ

たえ  
えりか  
たえ  
えりか



えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

知らないよ。あたしは昼までいません。母さんが来たらすぐいなくなるからね。ちよっと、ご飯見てちょうだい。

(炊飯器をのぞく) 出来ているよ。

炊き具合よ。

(しやもじで炊飯器からご飯を取り、試食する。) やわい。

(えりかの方言を訂正して) 柔らかい。あのヘルパーはね、わたしがご飯は固いほうが好きだつて言っても、いつも柔らかく炊くの。まったく頑固なんだから。

どっちが。

何か言いました？

なんにも。

音楽が入る。

#### M 4 頑固のテーマ

えりか

♪ 頑固

頑固

頑固はどっちだ

ひとのせいにして

自分のほうが

たえ

よっぼど

頑固

頑固

頑固はどっちだ

ひとのせいにして

自分のほうが

よっぼど

頑固

頑固

ばばあ

音楽終わる。

わたしは耳がいいんです。始めましょ。玉葱をみじん切りにします。大きめの二個ね。あつ！  
玉葱はそのまま、まな板にのせない。皮むいて。水で洗って。まな板も洗って。まな板は普通  
匂いがつかないように、濡れた布巾でふいてから、使うの。

音楽ふたたび始まる。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

M 4 ② 頑固のテーマ

えりか、やっとみじん切りにとりかかる。

音楽終わる。

(泣きながら) ざく切りじゃだめなの？涙が出る。  
本格カレーは、みじん切りです。あなたのお母さんも、玉葱は苦手だったわね。  
(泣きながら) くそばばあの話はしないで。  
包丁の使い方、誰に習ったの？  
くそばばあ。

音楽ふたたび始まる。

M 4 ③ 頑固のテーマ

えりかのみじん切りは続く。

音楽終わる。

たえ  
えりか

それ、何？そのトマトの陰にあるの。  
あたしのチョコレートとウーロン茶。冷やしとかなきゃ。

えりかは、手を休めて、冷蔵庫に入れる。

たえ  
えりか

まだあるでしょ。  
えっ！これ？

えりかは、サリーを取り出す。

たえ  
えりか  
たえ  
えりか

そんなもの、今流行ってるの？  
まさか。  
それ、インドのサリーじゃないの？  
その通り！いいでしょ！

M 5 サリーのえりか

えりかは、インド舞踊をまねる。  
くねくねと踊り始める。  
結構踊りはいけてるえりか

インドのイメージを踊るえりか。

音楽終わる。

えりかは、サリーをもとに戻し、みじん切りを続ける。

たえ  
それを買ったお金は？

えりか  
あつ、借りました。

たえ  
だめよ。

えりか  
返しときます。次、何？

たえ  
交通費と買い物物の代金、ちゃんと報告してね。

えりか  
うん。財布にレシート、入れといた。

たえ  
後で見えるからいいわ。つぎ！人参一本、にんにく一かけ、生姜一かけ、冷蔵庫、探してある。

えりか  
そこのおろし金で、全部すりおろす。

たえ  
はいはい。

えりかはみじん切りを終え、人参のすりおろしにかかるため、むき始める。

たえ  
だめよ！人参の皮はむかないで。皮に栄養があるの。



えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

人參、固てえ。すりにくい。  
手をすらないように。おろし金で怪我したら、いたいわよ。  
ああ！  
だいじようぶ？  
ああ！  
冷蔵庫の上に消毒薬があるから！  
うそでした！演技、うまいっしょ！  
ふざけてると、ほんとに怪我するわよ。  
笑いもとらないとね、野球部のマネージャーは務まらないの。  
よそみをしない。  
はいはい。

えりかは、人參をすっている。

あのねえ、うちでねえ、犬飼ってんだ。亀田コウキっていうんだけど。  
名字もあるの、変わった名前ね。  
うん。目の周りが、こう、黒い毛が丸く生えていて、まるでサングラスかけてるみたいなの。  
いつも、散歩で他の犬に吼えまくるの。  
名前となにか関係があるの？  
これよ！わかるでしょ！

えりかは、ボクシングの真似をする。

ボクシング？

あたりい！さすがあちゃん！でも、名前は知らないみたいよね。続けて。

はいはあい。

えりかは、人参のすりおろしを続けるが、かなり疲れてきている。

種類はなんていうの？プードル？

うちのは雑種。でねえ、うちに誰もいなくなるから、昨日の晩、知ってるひとのところに預けることにしたのね。それで、車に乗せて持っていく時、あばれるといけないから、ダンボール箱に入れたの。

そしたら、亀田コウキ、ものすごくいやがって、ダンボール箱、食いちぎっちゃったの。何でだと思う？

さあ。

(笑いながら) 亀田コウキはね、ダンボール箱にいれられて、捨てられていたからなの。だから、拾った時、ダンボール箱に入っていたの。

たえ  
えりか  
たえ  
えりか

たえ  
えりか

たえ  
えりか  
たえ  
えりか

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

面白くない？

(面白くなさそうに) 面白いわ。

顔が笑っていない。すべったあ！

次はトマトの皮むき。大き目のを二個。

それ知ってる！お湯につけてむくと簡単だよ。

お湯を沸かす時間がもったいない。フォークに刺して、ガス火であぶる。皮がパチツとはじけたら、むけます。

あの、前もってレシピ言ってくれる？あたしは操り人形じゃないんだから、言いなりに動くのって、すごく抵抗ある。

えりかは、2本のフォークでトマトを突き刺し火であぶる。

たえ

最もな話ね。でも、カレーは簡単、下ごしらえした食材を油でいためる。香辛料を入れて、鶏肉を煮込んだら終わり。

それだけ？

そう。

誰でもできるじゃん。

その通り。はい、やって。

？あのね、手順があるでしょ。

細かいところは、わたしの指示に従うしかないでしょ。文句を言う前に、まず動きなさい。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

えりか  
たえ

ばあちゃん、はなみずたれてる。  
わかってます。

えりか  
たえ  
えりか

えりかは、ティッシュを箱ごと渡す。  
たえは、自分のポケット・ティッシュを一枚取り出してふく。  
扇風機、消そうか？  
暑くなるからつけときなさい。  
早くつくつちやおうよ。

えりか  
たえ

えりかは、フォークで刺したトマトをつかむ。  
あちち！  
水で冷やしてむくのよ！きれいにむけるから。

たえ  
えりか  
たえ

えりかは、水で冷やす。  
ざくざくつと適当に切って。  
こう？  
そう。それをボウルに入れといて。鶏肉を二枚、一口大に切る。

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

えりかは、鶏肉を切って、別のボウルに入れる。

まな板がよごれるものは、最後。終わったたら、まな板を丁寧に洗って、それからしまう。  
はい。(気分は、はいよ)

きれいにしないと、夏は特に細菌が繁殖します。包丁も洗って、それからしまう。

はい。(気分は、はいよ)

さあ、下ごしらえは終わったわね。きちんと並べておきなさい。

はい。(気分は、はいな)

調味料、香辛料も取りやすいように整理しておく。

はい。(気分は、合点でい、親分)

パウダーの香辛料と塩は、あらかじめ、計っておきましょう。小皿出して。ターメリック小匙二杯。コリアンダー大匙一杯。クローブ小匙二分の一。塩小匙一杯。塩は足りなかったら、少しずつ足していくの。サラダ・オイルは目の前にあるわよ。固形スープは調理台の二番目の引き出し。チキン味のほう。

はい。(気分は、ココニアルネ)

スープは時間があったら、鶏ガラで作りたいわね。お鍋出して。

はい。(気分は、ワカタノコトヨ)

えりかは、鍋をガス・コンロに置く。

たえ  
えりか

そのお鍋でカレーを作ります。準備できた？  
イエイ！（へらで鍋をたたく）

えりかが、鍋の縁をたたくリズムで、音楽が始まる。

たえ

余計なこととはしない。お鍋にサラダ・オイル大匙五杯。点火して。

M 6 LIFE 人生

えりか

♪ (ハミング)

You baby, baby  
Ooh baby, baby

ユウ ベイビー ベイビー  
ああ ベイビー ベイビー

たえは、思わずえりかの顔を見る。  
演奏は続く。

たえ  
えりか

その歌は？  
父さんが歌ってくれたの。小さい頃、父さんが歌っているのを聞いて、メロディ自然に覚えたの。

そう……。

？

クミン・シードを入れて。小匙一杯。シナモン・スティック一本。砕いて。カルダモンふた粒。割って。唐辛子二本。ローリエ二枚。弱火でいためる。焦がさないようにね。いい香りがしてきたでしょう。

(匂いを嗅ぐ。)

はい、玉葱を入れて。

えりか  
たえ

えりかは、玉葱を勢いよく入れる。  
炒める音。

たえ

みじん切りの玉葱をじっくり炒めて、うまみを引き出すのがコツ。

えりか

どのくらい炒めるの？

たえ

あめ色になるまで。二十分が目安。

えりかは、炒めながら歌う。

えりか

♪Songs of life they ring from quiet town

静かな街から沸き起こった人生の歌が

To distant country

はるかな国に響き渡る

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more  
We're free forever forever more  
We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に  
自由なんだ 永遠に 永遠に  
自由なんだ 永遠に 永遠に

Come sing your songs of life you baby  
Come sing your songs of life

さあ君も人生の歌をうたってくれ ベイビー  
さあ君も人生の歌をうたってくれ

You baby, baby  
Ooh baby, baby

ユウ ベイビー ベイビー  
ああ ベイビー ベイビー

Maybe spend your life just working the land

働きづめの人生になるかもしれない  
その日暮らしの毎日かもしれない

Maybe livin' from day to day

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

音楽、終わる。

えりか

ばあちゃんじゃない？この歌、本当言うと父さんが歌っていたかどうか、わかんないの。確か

たえ

める前に死んじゃったから。昔、流行っていたわね。



えりか	たえ	えりか	たえ	えりか	たえ	えりか	たえ	えりか	たえ	えりか	たえ	えりか
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

母さんも、歌っていないって言うし、ばあちゃんが、英語の歌、歌うわけないし。やっぱ、父さんか・・・。

・・・。

ねえ、聞いていい？

なんだい？

なんで、母さんと十何年も会わなかったの？

・・・。

父さんが死んだ時も、お葬式、北海道でやっちゃったし。お骨、まだうちに置いてある。

・・・。

ばあちゃんが転んで、骨折したって電話があつた時も、ほんとというと、母さんあんまり来る気なかった、今は介護保険があるからとかいって。区役所の福祉課のほうから何度も電話があつて、やっと来る気になったと思うよ。ばあちゃんの家族はもう母さんとあたししかいないし。

・・・。

父さん、小さい頃、どんなだった？

素直ないい子だったよ。

あたしとはえらい違いだ。

わたし一人で育てていたから、親の苦労がよくわかっていたのね。

大人だ。

それでも、大きくなると、言うこと聞かなくなつたわね。

(うれしそうに) やっぱり。

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

あなたの年頃までが、限界だったわ。

(うれしそうに) うんうん、それで？

大学に入ったら、突然インドに行くと言い出して。

行ったの？

行ったわ。

(うれしそうに) 父さん、好き。

アルバイトで旅費を稼いで、一年近くも行っていたわ。ネパールにも行って、ヒマラヤを見て

来たって言っていたわね。

すげえ！

おかげで、留年したわ。

あたしも見習いたい。

がんばってね。

留年のほうだけ。

大学は、高校の留年とは、違うわよ。

わかっているって。あたし、本当は大学に行きたいの。あたしが小さい頃いたこの東京で暮らし

てみたいんだ。

いいわね。

だけどそれがだめなんだよ。父さんの生命保険、全部、母さんの入院で使っちゃったし、大学

に四年も行けないんだ。

大丈夫よ、なんとかなるわよ。その前に勉強しなくちゃね。あなたのお父さんはよく勉強した

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか

わよ。  
行けないのわかってて、勉強なんかできないよ。

若い者が、情けないこと、言わない。今は一生懸命勉強しなさい。

・・・・

手をとめない、焦げるわよ。

・・・・

ほら、玉葱！

あつ、そうか！インドで、父さん、カレー食べたんだ！

そうよ。

父さんかあ。

本格カレーは、あなたのお父さんが大好きだったのよ。

だからかあ。

そうよ！インド旅行から帰った後、わたしがカレー作ると、こんなのカレーじゃないって、うるさいこといって。それで、わたしはデパートの地下で、香辛料探して、苦労して作ったのよ。

父さんったら、こだわってる！好きだ、そういうの。

わたしはねえ、もうこの歳でしょ！だから、わたしが生きているうちに、あなたに、あなたのおとうさんが大好きだった本格カレーの味を、覚えてほしいの。

・・・・

呼び鈴が鳴る。

たえ、答えない。  
何回も鳴る。

えりか

はい！

えりかは、ガスを消して玄関に走る。  
先ほどのホーム・ヘルパーの高部愛子の歌声が聞こえてくる。  
たえは、寝たふり。いびきをたてる。  
高部愛子が入ってくる。

高部  
たえ

あら、いい匂い。松本さん、お孫さんに来てもらって、よかったわね。  
がああ！

えりかは、玉葱いために再開する。

高部

まだ、ご就寝中なのね。ごめんなさい、携帯どっか落としちゃって。バスに乗ってから気付いたんだけど、通り道ずっと探してきて、ここまで来ちゃったのよ。探させてね。

高部は、見回す。

高部  
えりか

無いわねえ・・・(鍋を覗き込んで)ふううん、やるわね。  
チキン・カレーだよ。

高部

チキン？本当だ。何を考えているんだろう、松本さん。チキンなんてだめよ、大腸に悪いわ。

えりか

カレーは豚が一番  
そうなの？

高部

豚よ。

たえ

チキン！

高部

(やっぱり、狸寝入りだ)豚。

たえ

カレーに豚はありません。

高部

ありますよ。

たえ

ありません。

高部

(えりかに)へら、貸して。

えりかは、へらを渡す。

高部  
たえ

こうMの字を書くようにしたら、次は鍋のへりをこするよう返す。  
余計なことをしないでちょうだい。孫のことは、わたしが教えます。そのままじゆうぶんよ。

上下きれいに、かえってますよ。

高部

ああ、いけない、またやっちゃった。時には親切があだになることもあるのよね。カレー・ライス、豚肉の細切れがもつとも合うのよ。それに、玉葱、人参、じゃがいも。人参はすりお

えりか  
高部  
えりか  
高部  
たえ  
高部  
たえ  
高部  
たえ  
高部  
たえ  
高部

ろさなくても、煮込めば、柔らかくなりますよ。カレーの具は、形になっているほうが目でも  
楽しめるわ。

(えりかに) ルーはどこ？

ない。

ない？

本格カレー。

なによ、こんなにたくさん！これ全部香辛料なの？刺激物は絶対に避けてください。

大丈夫よ。

激辛はだめです、中辛まで。

わたしは、インド・カレーが食べたいの。

身体によくありません。それに、カレー・ライスは立派な日本食です。ルーが無ければ、カレ  
ー粉と小麦粉を炒めればいいわ。

わたしは、わたしの味で食べたいの。

いけません、身体のことを考えて。あたしだったら、カレーのルーをブレンドして、ウスター・

ソースを入れるわね、りんごも丸ごと入れて。ちよつと無いわよ、この味は。

あなたの味はどうでもいいの。

あら、じゃがいも、ない。

たえとえりかに緊張感が走る。

えりか

あるけど。

高部は冷蔵庫を覗いてじゃがいもを見つける。

高部  
たえ

むいてあるじゃない！使いましょ。  
だめ！じゃがいもはだめ！

高部は構わず冷蔵庫からじゃがいもを出す。

たえ

えりか、助けて！

えりかは、高部からじゃがいもを奪い、冷蔵庫へしまつて、冷蔵庫のドアをおさえる。

えりか  
高部

ま、いいでしょ。自分が食べたいと思うものを食べるのが一番ですから。

高部はじゃがいもをあきらめ、玉葱炒めを再開。

高部

でも、じゃがいも、いいのにねえ。

高部

高部は演歌を歌いだす。

♪すき

すき

すき

じゃがいもさん

あなた、何しに戻ってきたの？

あ、もう、携帯探しに。

あつたの？

ないの。ああ、そうそう、大事なこと、忘れていた！

大事なことって？

松本さんの口座から、介護料金引き落としされていないって、会社で聞いたんですけど。

ああ、そのこと。それがちよっと、お金が必要だったので、年金の口座から立て替えちゃったの。来月まとめて払うということで、構わないかしら。

来月までだったら、構わないと思います。あ、もう、差し出がましいようですが、生活費のほうは大丈夫なんですか？

大丈夫よ、定期が満期になるので。来月、きちんと間違いなく払います。孫にね、少し送ったの。もう大学に行く年頃でしょ。

うわああお！ばあちゃん、金、送ってくれたんだ！ありがとう！これで大学に行けるよ。ばあ

えりか

たえ

高部

たえ

高部

たえ

高部

たえ

高部

たえ



ちゃん、神様だ！

えりかは、母に携帯でメールする。

えりか　　なんで、母さん、あたしに言ってくれなかったんだよ、こんな大事なこと。

高部　　やっぱり、お孫さんって、かわいいものですか？

たえ　　そうね、世間様と同じよ。あなた、お孫さんは？

高部　　まだなんですよ、それが。急がせているんですけどね、あたしが死ぬ前にこの手で抱かせてつて。

たえ　　携帯、無いと不便なんですよ、他を探してみたら？

高部　　はい。

高部の携帯が鳴る。

三人は、高部のバッグを見る。

高部　　(わざとらしく) あっ、あたしのバッグだ！

高部はへらを持ったまま、バッグのところへ行き、携帯を取り出し、スイッチを切る。

高部　　そろそろ帰らなきゃ。

高部は、えりかにへらを渡す。  
えりかは、玉葱炒めを再開する。

高部  
えりか

あら？油が飛んでる！  
うそ！どこよ、買ったばかりなのに。最悪う！  
こういう時の応急処置よ。こうやって、台所洗剤をちよつとつけて、水つけて、ちよいちよい

えりか  
高部  
たえ

つと！後できちんと洗えばいいわ。  
ありがとう！ヘルパーさん、恩に着る。  
高部愛子と申します。  
そうよ！エプロンがあるわ。

たえは、居間へ取りに行く。

高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部

どう、おばあちゃん？  
うるせえ、まじ切れそう。  
(居間のたえに向かって) いいお孫さんですねえ、来てもらって助かったでしょう。  
(えりかに) やっぱりね。  
でもね、お金、送ってもらったし、感謝感激だよ。だから、今晚だけは我慢する。  
あたしの時は、ハンバーグよ。肉のおいしさは焼き加減にあるのよ。ミディアムじゃなくてミ

えりか  
高部

えりか  
高部

高部  
えりか  
高部  
えりか  
高部

ダイヤモンド・レアで焼けたか、つなぎを入れずにつくれとか、パンを入れなかったから、バラバラになって、ああ、思い出したくも無い。

よかった、ハンバーグじゃなくて。あたし、ハンバーグ、大っ嫌いだから。

まあ！あなた、高校生でしょ？うちの子供たちなんか、ハンバーグといえば、逆立ちして両足で拍手して、違いわね、拍足して大喜びよ。

聞いて。小学二年の遠足に、コンビニで買ってもらったハンバーグ弁当もって行ったの。  
贅沢。

聞いて！大きなハンバーグの横に黄色いパイんと真っ赤なチェリーが添えてあって、友達がみんな、「いいなあ、えりちゃん。」ってうらやましがったのね。そしたら担任の先生が、「みなさん、手作りのお弁当のほう愛情がこもっているんですよ。お母さんが愛情をこめて作ったお弁当は、たとえ見栄えが悪くても、大切なお弁当なんです。えりかちゃんのうちはね、お父さんもお母さんも働いているから、お弁当が作れないの。とつてもかわいいそうなのよ。」って。その時、そうか、あたしってかわいそうなんだって思ったわけ。それ以来、ハンバーグは絶対食べない。

わかるわあ、先生のそういう感じ。

ね！それなのに、あたしの町にも、マックが、あのマックが出来ちゃったの。哀しいよ。ちよっと、遅いわね。

田舎なの、あたしのところは。  
そっちじゃなくて……。

声(高部)

高部は、たえが気になり、居間のほうへ去る。

松本さん！すっかりして！

松本さん！

音楽が入る。

M7 ばあちゃんの転倒

えりかは、あわててガスを止め、居間へ走り去る。

えりかと高部は、たえを車椅子に乗せてキッチンへ戻ってくる。

高部

居間をお願い！雑巾、お風呂場！

えりかはお風呂場に行く。

高部

必ず、あたしを呼んでください！無理に立たないで、あたしに言ってください。そのために、ヘルパーがいるんですから。松本さん、自分で出来ると思っても、失敗することもあるんですよ。こんなものと(エプロンを持って)命を引き換えにするなんて。あんな高いところのものを取り出そうとするなんて、無茶ですよ、車椅子が倒れるのも当たり前じゃないですか。

高部は、そのまま、キッチンを横切り、たえをトイレに連れていく。  
えりかは、雑巾を持って、居間へ走る。

音楽、止む。

トイレで水を流す音。

音楽が、再び始まる。

えりかは、すぐ戻ってくる。

お風呂場へ、バケツを取りに行く。

水を入れたバケツを持って、再びキッチンへ走りこんでくる。

音楽が、再び止む。

携帯電話の着メロ。

えりか

やだあ、もう！ケータイ鳴ってるし。

えりかは、居間へ走り去る。  
居間を急いで掃除して、雑巾とバケツを持って、走ってくる。  
石鹸で手を洗う。  
携帯電話の着メロを止める。

えりか

声(母)

はい。  
あたし。  
母さん？よく聞こえない。

えりかは身体の向きを変える。

声(母)

えりか

声(母)

えりか

声(母)

えりか

声(母)  
えりか

ばあちゃんに迷惑かけてない？ちゃんと世話してる？  
ちゃんとやってるよ。母さん、あした、絶対来てね。  
大丈夫だよ、行くから。．．．えりか、聞いてよ。ばあちゃんのお金、もらえない。  
なんで？．．．せつかくばあちゃんが送ってくれたのに。  
年金で暮らしている人から、あんな大金、もらえるわけないっしょ。もう送り返したよ。  
ええっ！もう、送り返したの？何なのそれえ！あたしに何もいわないで！あたし、大学、いけ  
ないじゃない！  
その話はもうしてるよ。  
．．．わかった。．．．切る。

えりか

音楽始まる。

M 8 えりかの夢

大学

あたしの夢なの

あたしの夢なの

大学

あたしの夢なの

あたしの夢なの

大学

どんな仕事をしたいか

どんな人生を送るか

大学で勉強して

考えよう

どんな人生を送るか

大学

あたしの夢なの

あたしの夢なの

大学

あたしの夢なの

あたしの夢なの

大学

どんな仕事をしたいか

どんな人生を送るか

大学で勉強して

考えよう

どんな人生を送るか

あたしは知りたい

あたしには

無限の可能性が

未来が



ひろがっている  
まだ  
あたしも  
知らない  
未来の  
あたしに  
会える

そうよ あたしの夢なの  
キャンパスで 学生食堂で  
話すのみんな  
これからの 希望や愛やよろこびを  
幸せ抱きしめる その日を  
かなえて欲しいの  
あたしの夢

たえが紗幕の中に浮かび上がる。

たえ  
えりか わかってほしい  
望めば かなうわ

えりか

幸せ つかんで欲しい  
力になりたい  
大学

たえ

あたしの夢なの  
あたしの夢なの  
大学  
えりか わかってほしい  
一度の人生

えりか

大切なひとだから  
大学  
あたしの夢なの  
あたしの夢なの

たえ

えりか わかってほしい  
一度の人生

えりか

しあわせ つかんでほしい  
大学  
あたしの夢なの  
あたしの夢なの

たえ  
えりか・たえ  
大学  
あたしの夢なの  
あたしの夢なの

えりかは、椅子にどっかりと座り込む。同時にたえは消える。  
高部が戻ってくる。

高部  
えりか  
おばあちゃんになにかあったら、病院のほうに連絡してね。電話台の上にかかりつけの病院の電話番号が貼ってありますから。  
・  
・  
・  
・

高部はえりかの様子に気がつく。

高部  
えりか  
歳をとると、誰にでもあるのよ。おばあちゃんの下着、洗っておいたから、外に干してあげてね。さりげなくね。それから、替えの下着とスカート、トイレの棚に入れてあります。専用のショーツもね。今頃のはつけやすいし、目立たないように出来ているんだけどね。あたしじゃ、言うこと聞いてくれないの。はあ(ため息)、あたし、この仕事、向いてないかもねえ……。それじゃあ、えりかちゃんも大変だろうけど、しつかりね。さよなら。さよなら。さよなら。

高部愛子は帰る。

ドアの閉まる音。

このドアの音はえりかには、いつものドアの閉まる音には聞こえない。  
人生の扉が閉まってしまったかのように、重く響いて聞こえる。

空虚な間。

えりかは、何もしないで、椅子に座っている。  
たえが戻ってくる。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

ばあちゃん、定期預金下ろさなくていいよ。母さん、お金送り返したって。馬鹿だ！  
そう……お母さん、いろいろと心配してくれているんだね。苦労してきたんだ、これまで。  
救いようのない馬鹿だ。  
そのエプロンをつかいなさい。  
まだ、カレー、作るの？  
作ります！

えりかはエプロンをつけ、ガスを点火し、玉葱炒めを再開する。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

(不機嫌に) あつつう。クーラー、効いてないね。  
効いています。  
これで。  
ちゃんと二十八度に設定してあるわ。  
耐えられない。

えりかは、扇風機を最大にする。

たえ

冷え過ぎは身体によくないし、エネルギーの無駄遣いよ。

えりかは、ため息をつく。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ

あつ、あめ色になった。  
人参、にんにく、しょうがを加える。人参と玉葱から甘みが出ます。チョコレートは入れませ  
ん。

(小声で) 入れろよ。

トマトを加えてぎっと炒める。

えりかは、トマトを雑に入れるので、鍋の外にこぼす。こぼれたトマトを、ひとつ捨てる。

たえ  
えりか  
たえ

捨てない。  
汚い。  
加熱すれば大丈夫。

えりかは、構わずこぼれたほかのトマトを捨てる。

たえ

小皿の香辛料を入れる。

えりかは黙って香辛料を入れる。

たえ

固形スープ二個と水二カップを加え、中火で十分間。固形スープは手でほぐす。

えりか

(小声で) 勝手に溶けるって。

たえ

大人気ないよ、いつまでも怒ってるの。大学はなんとかなるわよ。高校生にもなって。ちゃんとやる。

えりか

やってるよ。

たえ

やってません。そうやってふくれながら、やってもらっても、なんにもうれしくありません。……

えりか

手を休めない。使用済みのボウルは、今のうちに洗っておく。カレーが出来上がった時には、流しが綺麗になっているのが正しい。流しの中が山になっているのは、失格。

(小声で) 料理コンクールじゃねえっちゅうの。

たえ  
えりか

洗剤は、あぶくだらけになるほど入れない。手が荒れるし、もったいない。  
(小声で) けち。

えりかは、冷蔵庫からペット・ボトルのウーロン茶を出して飲む。

たえ

仕事しながら飲むのはみつともない。手を休めて座って飲む。

えりか

(たえを無視して、立ったまま飲む。) あっつう。

たえ

麦茶があったのよ。なんでも手軽に買ってしまうのは、よくないわ。今はなんでもコンビニで

えりか

麦茶は嫌いだ。

たえ

お料理は手間をかければ、お金もかかりません。

えりか

レトルトは百円だよ。

たえ

お金でなんでも買おうとするのも問題です。お料理は心を込めて手作りで作るものです。

えりか

買って何が悪いの！母さん働いているし、くたくたに疲れているし、手作り弁当作って、

たえ

このあたしが、あんな状態で帰ってくる母さんに、このあたしが頼める？あたしは、コンビニ

たえ

で育ってきたんだよ！  
お鍋を見なさい！あくが出ていますよ。おたまですくって、捨てる！

えりかは、おたまを取ろうとして、おなかでペット・ボトルを倒す。  
ティッシュを何枚かとってふこうとする。

たえ

ティッシュで拭かない！台布巾で拭く！

たえ

えりかは、拭いた後、布巾を片手でゆすいで、しぼる。絞り方がゆるい。あら、しぼりかた知らないの？やったこと無いの。もっと、かたく絞る。

えりかは、台布巾を調理台に叩きつける。

音楽が入る。

M 9 たえの愛情

たえ

どきなさい！わたしがやります！

たえは、台布巾を何とか絞る。

握力が弱っている。

おたまをとって、あくを捨てようとする。

うまくいかない。

普通の調理台は、車椅子では調理できない。



えりかは、エプロンを脱ぎ捨てている。

えりか

あぶないよ。

たえ

これくらい、まだできます。

たえは、なおもやろうとする。

えりか

わかったから、やめて。

たえは、あくを懸命にとろうとする。

えりか

やめて、やめて、やめてよ。

たえは、止めようとするえりかともみあう。

たえはついにえりかの手を振り払うが、その力は弱い。

たえは、ペット・ボトルのウーロン茶をこぼす。

あわてて、えりかは、ウーロン茶のペット・ボトルを拾い、おたまを奪って、ガスを切る。

音楽止む。

たえは、ウーロン茶を浴び肩で息をしながら、えりかを見ている。  
えりかはたえを見ている。

間

たえは、車椅子でトイレに向かう。

えりかはティッシュでウーロン茶を拭く。

何かの匂いに気づきティッシュを嗅ぐ。

尿だ！

あわてて、風呂場から水を入れたバケツと雑巾を持ってくる。

雑巾で床を拭く。

バケツで濯ぐ。

雑巾を絞る。

考え直し雑巾を硬く絞る。

床を拭く。

終わって、バケツと雑巾を風呂場にもって行こうとしたとき、トイレの水を流す音がする。

えりかはあわてて、バケツと雑巾を見えないところに隠す。  
抜き出したままのティッシュをポケットにしまう。  
石鹸で手を洗う。  
エプロンを身につける。

ドアの閉まる音。

えりかはエプロンの紐を結びおたまをとる。  
ガスに点火する。あくをとり、鍋をかき混ぜる。  
たえが帰ってくる。  
えりかは鍋をかきまぜている。  
たえ、えりかの後ろ姿を見つめている。

たえ  
えりか

麦茶が嫌いだったら、西瓜もあるよ。  
うん。

えりかは、鍋をかき混ぜ続ける。

えりか  
たえ

ガラムマサラと鶏肉、どっち先に入れるの？  
鶏肉。

えりか  
たえ

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

炒めるの？  
炒めないほうが、柔らかくなるよ。弱火にして十五分煮てね。

えりかは鶏肉を鍋に入れる。

サリーね、お金要らないわ。わたしからのプレゼント。

いいの？

いいよ。サリー、何に使うの？

学校祭。

仮装ね。

ビンゴ！

七福神？

？

弁天様やほてい様。

弁天様はサリー着ないよ。

そうかしら。弁天様はどこの神様？

中国。

いいえ。

うそお。インド？

ビンゴ。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

へえ、インドかあ。でも、弁天様は、今、はやらないの。  
あら、じゃ何をやるの。  
今年やるのは、「孔雀」。  
きれいなね。みんなが孔雀やるの？  
ちよつと違うかな。  
どこが？  
あたしは、孔雀の羽。  
羽？人間のあなたが？  
うん。一人だけ孔雀の頭で、残りはみんな羽。  
残りはみんな羽？  
わかんない？

たえは、頷く。

つまり、一羽の孔雀をクラスみんなで演じるの。  
まあ、面白そうね。  
でしょ。はじめ、みんなで踊ってて、いきなり一羽の孔雀に変身するところが見せ場だよ。  
その時に、それを着るの？  
羽と踊りと、その両方に合うと思うんだ。  
うまくいくといいわね。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

がんばる。  
見てみたいわ。  
だったら来る、北海道まで。  
やっぱり無理ね。手紙を書いてちょうだい、どうだったか。  
うっそお！手紙？あたし、苦手なんだ。  
そんなこと言っちゃ、学校の成績上がんないわよ。  
さあ、少し休みましょう。

えりかは、手を休めて、椅子に座る。  
静かな時が流れる。

えりか  
たえ  
えりか

あたしね、夕べ、眠れなかった。東京初めてだし。小学校の遠足以来だよ、そういうの。遠足の前の日って、眠れないよね。ばあちゃんにもある、そういう経験。  
もちろん、あるよ。

えりか  
たえ

ねえ、父さんって遠足、どこ行ったの？  
多摩川よ。その頃はまだ水が澄んでいて、それは綺麗だった。お父さんね、天気心配だった

えりか

って、いつも自分で照る照る坊主を作っていたわ。  
それかあ！あたしも作ってもらった。でも、父さん、酔っ払って帰ってきて照る照る坊主をさかさまにつるすんだよ、いつも。ほんとにいたずら好きだったね、父さんは・・・なん

で、父さん、あんなに早く死んじゃったんだ。あたし、父さんともっと話したかった。

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

もつともつと父さんのこと知りたかった。  
ほんとだね。えりかちゃんか、お嫁に行くところを見せてあげたかったわ。  
えっ？結婚なんて、まだまだ先だよ。

でもね、お父さんの分まで、お母さんがやってくれているでしょ、幸せよね、えりかちゃんは。  
そうか、だから、男が混ざっているから男まさりなんだよな、あのくそばあ。  
そんなこと言っていたら、ばちが当たりますよ、あんなにいいお母さんなのに。  
母さん見ると、なんとなく、自分の将来がわかっちゃうよ。

一生懸命生きているでしょ、それが一番素敵な生き方よ。  
子供のこと、ほったらかしで？

立派に育ててくれたでしょ？あなたが頼りなのよ。

だったらそれらしいことしてくれよ。

そんな憎まれ口をきいて。本当はお母さんが好きなんですよ？

好きなわけではないじゃん。父さんと喧嘩ばかりしてて。父さんが出張した日、口もきかなかつた。その日の朝、死んだんだよ、車運転してて、トラックに追突されてさ。母さんのせいだ！  
お母さんのこと、決してそんなふうにいるもんじゃないわ。  
二人のことは二人にしかわからない。

静かな時が流れる。

えりかは、ライフを口ずさむ。

英語の歌。

M 1 0 LIFE 人生

えりか

♪ Come sing your songs of life you baby

Come sing your songs of life

You baby, baby

Ooh baby, baby

Maybe spend your life just working the land

Maybe livin' from day to day

We're free forever forever more

We're free forever forever more

We're free forever forever more

We're free forever forever more

Songs of life they ring from quiet town

To distant country

We're free forever forever more

We're free forever forever more

We're free forever forever more

We're free forever forever more

さあ君も人生の歌をうたってくれ

さあ君も人生の歌をうたってくれ

ユウ ベイビー ベイビー

ああ ベイビー ベイビー

働きづめの人生になるかもしれない

その日暮らしの毎日かもしれない

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に

静かな街から沸き起こった人生の歌が

はるかな国に響き渡る

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に

自由なんだ 永遠に 永遠に



たえ・えりか

Come sing your songs of life you baby  
Come sing your songs of life

さあ君も人生の歌をうたってくれ  
さあ君も人生の歌をうたってくれ

You baby, baby

ユウ ベイビー ベイビー

Ooh baby, baby

ああ ベイビー ベイビー

Maybe spend your life just working the land

働きづめの人生になるかもしれない  
その日暮らしの毎日かもしれない

Maybe livin' from day to day

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

We're free forever forever more

自由なんだ 永遠に 永遠に

音楽、終わる。

えりか

ばあちゃんだったんだ！歌ってくれたの！

たえ

(微笑んで) わたし、中学校で英語を教えていたことがあるの。

えりか

やっぱり！先生だったんだ。あたし、さえてるう！

たえ

お父さんがまだ小さい時に、英語が出来るようにって、毎日英語の歌を教えていたんだよ。

えりか

ほんとうだったんだね。本当に、あたし、ばあちゃんと一緒に暮らしていたんだ。ああ、なん  
だか、いろんなことがわかってすつきりしたあ。

えりか

えりかは匂いを嗅ぐ。

ああ、腹減ってきた！

カレーが煮えている音。

たえ

もうそろそろ、お肉がやわらかくなるわね。ヨーグルト入れて。二分の一カップ。味がまろやかになるよ。チャツネ小匙四杯。

えりかは味をみる。

えりか

うーん、デリシヤス！

たえ

delicious!

えりか

仕上げは、ガラムマサラを振って香りをつけ、塩とブラックペッパーで味を調える。

たえ

分量はえりかの好みでいいよ。

えりか

あたしの好みでいいの？

たえ

そうよ。

えりか

この時を待ってましたぜ、ばあちゃん！

このえりかは、ブラック・ペッパーにはちよつとうるさいんだなあ、これが。

えりかは、ブラック・ペッパーをペッパー・ミルで挽く。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

東京のお土産って、何がいいかな。  
お土産？

部活の先輩に買っていくの。

難しいね。

何でもあるのにな？

そうね。何でもあるからなの。

えりかはカレーを作り終える。

たえは、スプーンとグラスをテーブルの上に持っていく。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

ばあちゃん、やるよ、あたしが。

働かざるもの、食うべからず。

また、先生になつてら。

えりかは、二人分、盛り付けを終える。

えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ

ばあちゃん、スパイスの残り、もらっていい？

たえ  
えりか

(笑って) いいよ。

あたし、今度、このチキン・カレー、作ってみる。次の合宿で作ってみる。絶対大うけよ。玉葱のみじん切りは、スキーのゴーグル、つけてやってやる。

そんな姿でみじん切りなんて、とんでもないわ、みつともない。

そういうだろうと思った! (たえをまねて) とんでもないわ、みつともない。もういいから座りなさい。

たえ  
えりか  
たえ

たえは、席につき、座っている。

えりかは、エプロンを脱いで椅子に座る。

えりか  
たえ

いただきます!

いただきます。

二人は食べ始める。

えりか

あした、母さん来るからね・・・あたしはあした帰るから・・・秋に修学旅行で東京へ来るけど、たぶん会えないよ。友達と原宿とか行くし・・・ヘルパーさんと仲良くして。ああ見えても、あの人はプロだよ。あの高部さんて、めっちゃ信用できるよ。だから、また頼んでさ、仲良くしててよ・・・母さんも仕事あつから長く居られないし、あたしのとこに早く返してね。

たえ  
えりか

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
えりか

聞いている？

ああ、聞いているよ。

ばあちゃん、あたし、約束する。このチキン・カレーの味、絶対に忘れない。結婚は当分しないけど、でも結婚して子供を生んだら、その子たちに本格カレーの味、教える。ばあちゃんと同じように教える。そして、その子達が大人になって、そして結婚して、孫がきたら、このあたしが教えるよ、ばあちゃんと同じように教える。子供へ伝えて、孫へ伝えて、またその子供のひ孫へ伝えていくから、安心してね。……ばあちゃん、長生きして……。

おいしい？

……。

ばあちゃん……。

ああ、生まれてから、こんなに……おいしいものは食べたことが無いよ。……ほんとうだよ。

……。

ありがとう、えりか。

……。

音楽が入る。

M 1 1 チキン・カレー

えりか

♪おいしい

なんて すてきな ことば  
いままで 考えもしなかった  
しあわせが いま この胸に

しあわせ

なんて すてきな きもち  
いままで 味わいもしなかった  
おいしさが いま この口に

いままで カレーは

ひとつの味

カレー味だと思っていたの  
でも ひとつの味じゃない

いろんな味が集っている

ハーモニー

それが

ハーモニー

魅力

それがカレーの魅力 なんて素敵

たえ  
えりか  
たえ  
えりか  
たえ  
えりか

えりか  
たえ  
えりか  
えりか・たえ

怒りっぽい人  
優しい人  
いらいらする人  
世話好きな人

紗幕の中に高部愛子がまだ会社には戻っていないらしく外出着で浮かび上がる。

高部愛子  
えりか・高部  
たえ  
えりか・高部  
たえ  
三人  
えりか

世話好きでしかもちよつと、おせっかいで情にもろい人  
ハーモニー  
それが  
ハーモニー  
魅力

いろいろいるけれど 人間だってみんな同じ

たえ  
なんてもう  
いままでもう  
どうしよう  
しあわせが  
おもしろい  
なんてもう  
すてきな  
ことば

高部

いままで 考えもしなかった  
どうしよう

しあわせが いま この胸に  
おいしい

なんて すてきな ことば

いままで 味わいもしなかった

おいしさが いま この口に

ハーモニー

ハーモニー

しあわせの

ハーモニー

人生の味

チキン・カレー

おいしい!

三人がチキン・カレーを美味しそうに食べているところでストップモーション。

M 1 2 バウズ

M 1 3 EXIT M

幕